

一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会 令和4年度 事業報告書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和4年度における事業の概要につきまして、以下のとおりご報告します。

1. 戦略会議・研究会・ワーキンググループ活動

- 1-1. 防災インフラ PFS 研究会、レジリエントで環境にやさしい次世代型舗装材普及・促進に向けた検討 WG（ともに、座長：藤井聡京都大学大学院教授）、非常用電源（防災専用）の再整備・活用促進へ向けた検討 WG（座長：柏木孝夫東京工業大学特命教授）の3つのWGでの検討結果を提言書としてとりまとめ、令和4年4月26日、広瀬道明当協議会会長、藤井聡当協議会副会長が森昌文内閣総理大臣補佐官を訪ね、岸田文雄内閣総理大臣宛の提言書を手交しました。さらに、同提言書を、5月16日、高市早苗自由民主党政務調査会長に、5月26日二之湯智国土強靱化担当大臣に手交致しました。これらは令和4年6月に国土強靱化推進本部（岸田総理大臣が本部長）決定の国土強靱化年次計画2022の中にいずれも提言内容が記述されました。
- 1-2. 「レジリエントな脱炭素に向けた国産木材推進WG」（末松広行座長）を3回開催。CO2固定化へ向けた新たな制度構築に絞って提言することを目的に、「CO2固定による国産木材利用促進WG」（中井徳太郎座長、末松広行副座長）に再構成してワーキンググループを開催。

2. 「ジャパン・レジリエンス・アワード」（強靱化大賞）

2-1. 第8回「ジャパン・レジリエンス・アワード」の実地

表彰式は、4月26日、赤坂インターシティ AIRにて開催。64の企業・団体を表彰。プレゼンターとして二之湯大臣および古屋、石井の2特別顧問が出席。審査委員会による審査の上、「ジャパン・レジリエンス・アワード」各賞、部門賞「STOP感染症大賞」各賞、「国土強靱化地域計画賞」金賞が決定。

ジャパン・レジリエンス・アワードの受賞者等については、令和4年8月19日の日本経済新聞朝刊15段（全段）で再録掲載。

2-2. 「ジャパン・レジリエンス・アワード MEMORIAL BOOK」の発刊

令和4年11月、「ジャパン・レジリエンス・アワード」の昨年度（第8回）受賞者の活動事例をまとめ発刊。

3. 「レジリエンス認証」

3-1. 令和4年度、例年通り3回の募集を行い、128の企業・団体が認証を取得（新規：54、更新：74）。その結果、令和4年度末時点で、認証取得企業・団体の総数は293となった。（前年36団体増）

3-2. 令和4年8月25日、レジリエンス認証説明会をオンライン開催。レジリエンス認証制度について（内閣官房国土強靱化推進室）、講演（これからの事業継続について（一財）危機管理&教育演習センター 理事長 細坪信二氏）、レジリエンス認証について（当協議会荒井普及促進本部長）、レジリエンス認証取得団体様の発表（株式会社エンタープライズ、有限会社丸重屋）、質疑応答で構成。

3-3. 令和5年1月5日、日刊建設工業新聞にタイトル「レジリエンス立国構築に貢献～事業継続の取組み支援 社会経済システム確保～」として記事が掲載。レジリエンス認証の普及に、関東地方整備局との連携についての内容が取り上げられる。

4. 主なイベント、PR活動

4-1. 令和4年9月14日、感染症対策注目ソリューションセミナー「空気を意識した感染症対策とは？」をweb開催、第8回ジャパン・レジリエンス・アワード STOP 感染症大賞グランプリを受賞したナノポーラス光触媒「アルミオン」を取り上げ、感染症学の専門家にお話しいただきました。登壇者は東北大学名誉教授・東京都参与 賀来満夫先生、福島県立医科大学医学部教授 金光啓二先生。

以上